

多変数の微分積分学Ⅰ 練習問題 No. 13 (2013年7月22日)

__年16組__番 氏名_____

問13 $f(x, y) := x^2 + 3xy + y^2$, $g(x, y) := x^2 + y^2 - 1$, $N_g := \{(x, y) \in \mathbf{R}^2; g(x, y) = 0\}$ とする。

- (1) N_g は \mathbf{R}^2 の有界閉集合であることを示せ。(2) N_g 上で $\nabla g \neq 0$ であることを示せ。
- (3) Lagrange の未定乗数法により、 N_g における f の極値の候補を求めよ。(4) N_g における f の最大値、最小値を求めよ。

解答 $\nabla f(x, y) = \begin{pmatrix} f_x \\ f_y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2x + 3y \\ 3x + 2y \end{pmatrix}, \nabla g(x, y) = \begin{pmatrix} g_x \\ g_y \end{pmatrix} = 2 \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}.$

(1) 省略。

(2) $\nabla g(x, y) = 0$ とすると、 $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ である。 $g(0, 0) = -1 \neq 0$ であるから、 $(0, 0) \notin N_g$.
すなわち、 $\nabla g(x, y) = 0 \implies (x, y) \notin N_g$ が示せた。ゆえに $(x, y) \in N_g \implies \nabla g(x, y) \neq 0$.

(3) (2) で示したことから、条件 $g(x, y) = 0$ の下での条件付き極値 (N_g での極値) は、Lagrange の未定乗数法で求まる。すなわち、 (x, y) で極値を取ったとすると、 $\exists \lambda \in \mathbf{R}$ s.t.

$$(\star) \quad \nabla f(x, y) = \lambda \nabla g(x, y), \quad g(x, y) = 0.$$

成分で書くと

$$\begin{pmatrix} 2x + 3y \\ 3x + 2y \end{pmatrix} = 2\lambda \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}, \quad x^2 + y^2 = 1.$$

前者から $\begin{pmatrix} 1 & 3/2 \\ 3/2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \lambda \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$. これは λ が、行列 $\begin{pmatrix} 1 & 3/2 \\ 3/2 & 1 \end{pmatrix}$ の固有値で、 $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ が λ に属する固有ベクトルと言うことを意味する。

線形代数で学んだ手順で解いて、 $\lambda = \frac{5}{2}, -\frac{1}{2}$ で、 $\lambda = \frac{5}{2}$ のとき $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = t \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ ($t \in \mathbf{R}$),

$\lambda = -\frac{1}{2}$ のとき $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = t \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \end{pmatrix}$ ($t \in \mathbf{R}$).

$x^2 + y^2 = 1$ と連立して、

$$(x, y, \lambda) = \left(\pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{5}{2} \right), \left(\pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \mp \frac{1}{\sqrt{2}}, -\frac{1}{2} \right).$$

$(x, y) = \pm \left(\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}} \right)$ のとき、 $f(x, y) = \frac{5}{2}$, $(x, y) = \pm \left(\frac{1}{\sqrt{2}}, -\frac{1}{\sqrt{2}} \right)$ のとき、 $f(x, y) = -\frac{1}{2}$.

(4) N_g は \mathbf{R}^2 の有界閉集合でコンパクト、 $f: N_g \rightarrow \mathbf{R}$ は連続 (多項式関数だから) であるから、 f は N_g 上で最大値と最小値を持つ。

最大値は極大値であるが、(2) からそれは Lagrange の未定乗数法で求まる。(3) から $f\left(\pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \pm \frac{1}{\sqrt{2}}\right) = \frac{5}{2}$, $f\left(\pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \mp \frac{1}{\sqrt{2}}\right) = -\frac{1}{2}$ のいずれかが最大値ということになるが、 $f\left(\pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \mp \frac{1}{\sqrt{2}}\right) = -\frac{1}{2}$ が最大値でないのは明らか (もう一方の点で $5/2$ という値を取る) であるから、最大値は $\frac{5}{2}$ である。

同様に最小値は $-\frac{1}{2}$ である。■